

第5講

現代文の読解(5) — メディア論

例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。
*後の設問に答えよ。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

プラスα

- 1 映画における俳優の審級について簡単に記そう。
- 2 一般の劇映画では、まず最初に行方者（アクター）が設定される。次に役柄（キャラクター）が設定される。第三にペルソナ（映像の身体）が登場する。
- 3 ペルソナのさらに上に、俳優のイメージが控えている。俳優のイメージは、本人の自己参照と観客の眼差し、製作と配給の側の方針の連動により成立している。
- 4 以上の四つの審級は、現実には絶え間なく循環しており、つねに逸脱とメタレヴェル化の機会を窺っている。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

問一 X Z に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア X 目 Y 鼻 Z 口
- イ X 頭 Y 手 Z 足
- ウ X 心臓 Y 脳 Z 肺
- エ X 骨 Y 肉 Z 皮膚

問二 次の文を挿入する箇所として最も適当なのは A D のどれか。記号で答えよ。

これは相乗効果である。

問三 線部「現実にはそれは別個に分離された形で働いているわけではない」とはどういうことか。本文中の言葉を用いて五十文字以内で説明せよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問四 本文の内容に合致するものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 設定された役割(キャラクター)は、必ず映像として姿を見せる必要がある。
- イ 同じ役割を異なった俳優が演じることは、映画の世界においては稀まれである。
- ウ 俳優のイメージの審級は、映像の身体としての審級であるペルソナの上にある。
- エ 観客にとって登場人物を判別しにくいような映画がもっと製作されるべきだ。

重要語句

- ◇ 瞭然 〓 はっきりしていて疑いがないさま。
- ◇ 醸成 〓 かもしだすこと。
- ◇ 揮発性 〓 液体が蒸発しやすいさま。
- ◇ 契機 〓 変化をおこす原因・きっかけ。
- ◇ 形象 〓 かたち・イメージ。
- ◇ 虚構 〓 事実ではないことを事実らしく作り上げること。フィクション。
- ◇ 攪拌 〓 かき混ぜること。
- ◇ 錯綜 〓 物事が複雑に入り組んでいること。

用語

- 問一 一般の劇映画における、行為者、役割、ペルソナの立ち位置を確認する。
- 問二 各空欄の直前部から、「相乗効果」といえる箇所を探す。
- 問三 「それ」の内容を確認し、それが現実にとどのような働きをしているかを考える。
- 問四 各選択肢について、該当する箇所を文中から探し、選択肢の内容と照合する。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合で本文の段落に①～⑩の番号を付してある。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権の都合で掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

問一 — 線①「メディアが有する媒体としての透明性」とあるが、それはどういうことか。「透明性」という表現の意味を明らかにしたうえで、本文中の言葉を用いて五十文字以内で説明せよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問二 — 線②「『言語』のマテリアルな次元」について、次の問いに答えよ。

(1) ベンヤミンの考える「『言語』のマテリアルな次元」とはどのようなものか。本文中から十字と十八字で、二つ抜き出して答えよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 筆者はベンヤミンの洞察を発展させて、「『言語』のマテリアルな次元」についてどのようなことを述べているか。本文中の言葉を用いて四十文字以内で説明せよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問三 [] に入る語句として最も適当なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 批判 イ 要約 ウ 改革 エ 措定 オ 無視

問四 — 線③「何重にも折り重なるメディアエーション、意味が調停されていく過程」と同様の意味をもつ表現を、本文中から十五字以上二十字以内で抜き出して答えよ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問五 本文の内容に合致するものを次のア～オから二つ選び、記号で答えよ。

- ア 信号伝達をモデルにした通信理論は、メディアとはメッセージ伝達を媒介する手段だという考え方を示した。
- イ 二〇世紀を通じ、マス・コミュニケーション研究では、メディアについての考察が集中的になされてきた。
- ウ マクルーハン は、従来のメディア概念を批判し、メディアそのものがメッセージである主張した。
- エ ベンヤミンは、言語のメディア性を明らかにしたが、それに対してはさまざまな批判もあった。
- オ 文学作品の翻訳は、一方の言語において成立した意味を、そのまま他方の言語に置き換える行為である。

[] [] []